



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会
牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77
Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925
Eメール: gpnng725@gmail.com
URL/<https://yachiyokyokai.org>
郵便振替:00190-4-554373

今年のみ言葉 ローマ人への手紙 8 章 34 節

「だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていただくのです。」

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「信じれば、あなたとあなたの家族は救われます」

牧師 小林 政和

使徒の働き16章16-33節

パウロとシラスが占いの霊につかれた若い女奴隷に出会います。二人が占いの霊を追い出したところ、この女の主人に訴えられビリピで牢屋に閉じ込められます。二人は真夜中に、多くの囚人の前で神に祈り、主を賛美していました。他の囚人たちは違った考えの者が入ってきたと、賛美を聞き入っていました。ちょうどその時、大地震が起きました。牢獄の扉が全部開き、囚人たちの鎖が解き放されました。看守が眠っていましたが、目を覚ますと獄舎のカギが全部開けられており、彼は囚人たちが逃げたと思ったのです。警備怠慢の罪で死刑にされるのがわかっていたので、自殺しようとしていました。パウロが「自殺してはいけません。私たちはみなここにいる。」と叫びました。看守が灯で、牢室を照らすと囚人たちは一人も逃げないでいます。二人が普通の人でないと感じ取った看守は「先生方、私が救われるためには何をしなければいけませんか」とパウロとシラスの前に膝まづきます。二人は「主イエスキリスト信じなさい。そうすればあなたとあなたの家族が救われます。」と答えます。看守は悔い改めます。二人が何度もむち打たれたため、背中には深い傷跡がありそれを洗います。人の痛みを同情する心になったのです。それから二人を自宅に招き食事をさせたばかりでなく、家族全員が福音を聞き、罪を悔い改め、全員がバプテスマを受けたのです。この話は、現在も起こり得る話です。ある家族の1人が福音に触れ、悔い改めイエスを信じるようになります。この人が端緒となって次々と家族が救われるケースがあります。今までの家系にキリスト信者が誰もいませんでした。罪と死の原理から。死んだらおしまい、天国も永遠の命も知らない世界に住む人たちでした。彼らの先祖は自分たちの末裔にクリスチャンが生まれることを待ち焦がれていました。霊の世界では、クリスチャンが「希望の星」なのです。被造物は今に至るまで、共に呻き、共に産みの苦しみをしています。被造物は切実な思いで、神の子供たちが現れるのを待ち望んでいます(ローマ8・20-23)。各家系の先に召された人々も救われることを願っています。救われるには「罪を悔い改める」ことが必要です。その場面については、いつか分からないが、どこかで行われるかも知れません。その人と神様のみが知ることで、私たち人間に分からないとしても、先祖のためにもあなたがまずクリスチャンになることが、あなたまで子々孫々と続いて来た家系の救いの第一歩となるのではないのでしょうか。



6月2日(火) 野崎宅家庭集会

月に一度の定例の家庭集会になりました。聖歌を歌い、小林先生のメッセージを受け、豊かな時間になったことを感謝します。



教会近隣の花

立葵の花は、2メートルほどの高さになり、梅雨の始まる6月下旬ごろから、根もとの方から段々に先端にも咲いていきます。梅雨が開ける頃には花も終わります。今年はピンクの美しい花が咲きました。(6月5日撮影)下橋



ブロック別牧師会

6月8日(月)に千葉・茨城・埼玉ブロック別牧師会を開催しました。

今回は江戸川志音教会に5人の牧師が集いました。この教会は区の行政と連携し、高齢者の運動(体操等)に場所を提供しており、地域に密着した様子が伺えました。韓国でもよく歌われているプレイズソング等が紹介され、ジョン・ピルアン師のギター演奏で、皆で歌いました。奥様が作られた韓国料理は美味でした。(小林)



6月17日(水)祈禱会

毎週水曜日13時30分から行われています。聖歌を歌い、聖書の勉強をして、お祈りをします。今日は「ヨブ記」と「テモテ第二の手紙」を、小林牧師からご指導いただきました。(下橋)



特別寄稿 【願いを聞いて下さる神様】

鳴滝キリスト教会 牧師 稲葉禮野



先日、抗がん剤治療中の信徒さんにメールをしました。「昔、入院中の信徒さんに会った時、ふと、『一度、入院中の人の気持ちを体験してみたい』、と思いました。半年後、肺炎で入院した時、家内の洋子さんは、『あなた、おめでとう！神様が願いを聞いて下さったのね』、と言いました。その後、右目の網膜剥離で、半年入院。しかし、治らず、別の病院に行き、手術は成功しましたが、退院後、緑膿菌の為に、右目を失明しました。数年後、肺ガンで入院。洋子さんは、いつでも笑顔で、『神様がおられるから、大丈夫』、と励ましてくれました。ところで、最近、あの苦しみを忘れそうで、怖くなります」。

信徒さんはこう書いてきました。「そうなんですね。素敵なお話。私は今回、初めての入院(出産は別)です。自分は健康だ、大丈夫だ、と思い込んでいた私に、神様が試練を下されたのですね。だから、この病気は神様からのお恵みです。神様は耐えられない試練は下さらない、と信じて頑張ります」。

* 稲葉先生の紹介・「稲葉先生は連合の牧師です。私の郷里の和歌山県の鳴滝キリスト教会(和歌山市)で、40年間牧師をし、その後、10年間、和歌山県の勝浦・市野々バプテスト教会、三重県の本木バプテスト教会でも、牧師をされ、5年前に、鳴滝キリスト教会に戻られました。長年、児童福祉の仕事をし、現在、『ストップ！子ども虐待 紀州てんてんまり』の代表をされています。先生は短歌、俳句、絵画がお得意な趣味で、素晴らしい作品を拝見しています。私どもは長年、稲葉禮野・洋子先生ご夫妻には親しくお付き合いをして頂いています」(小林)

教会及び連合のスケジュール(予定)

4月05日(日) イースター(復活祭)
4月19日(日) 教会総会
4月29日(水) 連合スプリングセミナー
5月24日(日) 第50回東京地区連合の合同聖徒記念礼拝
八千代キリスト教会は小林義宣兄が礼拝の責任を持つ
6月18日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
7月07日(火) 野崎宅家庭集会
7月13日(月) 朝:東京地区教会の牧師会、夕:東京地区連合委員会
7月31日(金) 「ヤコブの梯子」原稿締め切り
8月02日(日) 運営委員会
9月06日(日) 運営委員会
9月14日(月) 朝:東京地区教会の牧師会、夕:東京地区連合委員会
9月17日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
9月20日(日) 創立30周年記念礼拝

祈って下さい

- 1) 上福岡教会において、よい時に良い牧師が与えられますように
- 2) 三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに平和が回復するように
- 4) アメリカ・イスラエルとイランの間での戦争が終結し、ホルムズ海峡で安全運航ができますように
- 5) 横田めぐみさんをはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 6) 求道者が救われるように、特に奥田順一兄、池田英穂兄が受洗できるように
- 7) 幕張の特養ホームおられる「八木明子姉」の信仰のために
- 8) 成田のグループホームにいる「安藤真大兄」の歩行機能が、リハビリできますように
- 9) 箆生嘉清兄の完全な健康回復のために

3 分間講座 「なぜユダヤ人は多くの民族から嫌われてきたのか(上)」

ダビデ、ソロモン王の時代に最盛期を迎えたヘブライ王国も、ソロモンの死後の紀元前 922 年ごろ、北のイスラエル王国、南のユダ王国に分裂します。イスラエル王国はアッシリアによって滅ぼされ、ユダ王国も紀元前597年に新バビロニアに攻め込まれ、住民のヘブライ人(ユダヤ人)はバビロンに捕囚として連行されます。その約50年にもわたる捕囚の苦行体験の中から、一神教として体系化されたユダヤ教が生まれました。

ユダヤ教とは、唯一神(ヤハウェ)と人が交わした約束に基づいており、モーセが神から授った十戒のほか、社会正義、道徳、生活様式などが律法として、旧約聖書の中に記されています。また終末思想があり、いつかこの世に終わりがきて、そのときメシア(救世主)に救われるのはユダヤ教徒だけで、他の民族や異教徒は救われないのです。またユダヤ教徒には、多くの苦難をくり抜けてきた自分たちこそが、神に選ばれた特別な存在だとする選民思想もあります。またユダヤ教徒側からすれば、三位一体を教義とするキリスト教のイエスが、メシアだとは認めません。ユダヤ教信者には、旧約聖書のみが教典なのです。イエス自身もユダヤ人として生まれ、ユダヤ教の中で育ちました。ヨハネから洗礼を受け「神の国は近づいた」と宣教を始め、律法主義の不備な点を示しながら神の愛、隣人への愛を説き、それが多くのユダヤ人にも受け入れられました。しかし頑固な律法主義者たちの反発を買い、ついには反ローマの罪で処刑されたのです。それはキリスト教徒にとって今日に至るまで残る怨念だとよく言われますが、それは神の救いの計画であった事から、真のキリスト者はユダヤ人を赦し、彼らがクリスチャンになるよう祈っています。

キリスト教は当初エルサレム周辺のユダヤ人社会に限られていました。それがイエスの遺志をついだ 12 人の使徒らが、身を捨てて各地に宣教活動の旅に出て、世界的な宗教にまで輪を広げたのです。ルーツは同じでも、ユダヤ教は律法を守る保守的で、民族的に限られた少数派の宗教に留まりました。(池田)



嘆きの壁に向かって祈るユダヤ人

編集後記: 6月から7月にかけて関東地方は「つゆ」の時期です。真夏のような暑さの日や、つゆ寒と言って暖房が欲しいような日があります。気温の変動が大きく、持病がある人は悪化させやすいので気を付けましょう。食中毒がこの時期から急増します。気温が25度を超すと細菌の増殖が著しくなります。75度で1分間過熱すると、ほとんどの菌は死滅します。用心第一です。(下橋)